

入門演習・基礎演習用クラスルーブリック

※入門・基礎の到達点は尺度で提示（例）入門1～3、基礎2～4

©関西大学ライティングラボ(毛利美穂、小林至道、西浦真喜子)

2015年1月20日完成

評価の観点	評価の観点の説明	1	2	3	4
① 問いの明確さ	テーマに対する「疑問(=問い)」は明確か	テーマに対する「疑問(=問い)」がない。	テーマに対する「疑問(=問い)」らしきものはあるが、論全体にかかわる問いになっていない。	テーマに対する「疑問(=問い)」がある。	テーマに対する「疑問(=問い)」が明確であり、かつその視点にオリジナリティがある。
② 資料の収集	「疑問(=問い)」に応えるための資料(材料)を集めているか	「疑問(=問い)」に応えるための資料を集めていない。	「疑問(=問い)」に応えるための資料を集めているが、基礎資料の欠如や内容に偏りがあるなど、不完全である。	「疑問(=問い)」に応えるための資料を集めている。	「疑問(=問い)」に応えるための資料を、論に沿って偏りなく集めており、その量は適切な量である。
③ 資料の整理	資料を論に沿って、論理的に整理しているか	集めた資料を整理していない。	集めた資料を並べているが、論に沿って整理できていない。	集めた資料を、論に沿って整理している。	集めた資料を論に沿って整理しており、かつ説得力がある。
④ 全体の構成	序論・本論・結論の型にそって自分の意見・主張がまとめられているか	序論・本論・結論に沿った構成ができていない。	序論・本論・結論に沿った記述はみられるが、形式的に欠けている部分がある。	序論・本論・結論に沿った構成が形式的にできている。	序論・本論・結論に沿った構成が形式的にできている、かつ内容的にも一貫している。
⑤ 引用	引用のルールにしたがっているか	本文中の引用方法について、ルールに従って表記されていない。	本文中の引用方法について、ルールに沿った記述はみられるが、形式的に欠けている部分がある。	本文中の引用方法について、ルールに従って表記されている。	本文中の引用方法について、ルールに従って表記されており、その引用の量・質も適切である。
⑥ 表記・その他	日本語の文章として、表現・表記が適切であるか	満たしている項目が、1～2項目以下である。	満たしている項目が、3～5項目である。	満たしている項目が、6～8項目である。	満たしている項目が、9項目以上である。

⑥表記・その他

- 1 主語・述語の関係が明確である。
- 2 接続詞を正しく用いている。
- 3 前後の指示関係が明確である。
- 4 だ・である体で統一している。
- 5 あいまいな表現や冗長な表現がない。
- 6 傍点・傍線を適切に用いている。
- 7 外来語・人名・アルファベット・数字の表記が適切である。
- 8 巻末の文献表があり、ルールに沿って表記されている。
- 9 図・グラフの使い方が適切である。
- 10 表題、所属(学籍番号、学部、学年等)、氏名の基本的な情報が記されている。

本ルーブリックは、2012(平成24)年度採択 文部科学省 大学間連携共同教育推進事業「く考え、表現し、発信する力」を培うライティング／キャリア支援」で作成されたものです